

# 令和6年度学校自己評価システムシート (県立草加南高等学校)

目指す学校像	困難に挑戦する強い心と豊かな人間性を育み、グローバルな視点をもって社会に貢献する人材を育成する
--------	---

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

重点目標	1 主体的・対話的で深い学びの実践、指導と評価の一体化を進め、学習指導の質を高める 2 一人ひとりの生徒理解を基礎とする、自主性を促しつつ、適切かつ組織的な生徒指導をすすめる 3 多様な進路実現に向けきめ細かな指導を継続すると共に、大学入試改革に対応できる進路指導を確立する 4 グローバル人材育成事業及び本校独自のプログラムを通し、地域に開かれた学校づくりを推進する
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

出席者	学校関係者 生徒 事務局(教職員)	名 名 名
-----	-------------------------	-------------

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							学 校 関 係 者 評 価		
年 度 目 標				年 度 評 価 ( 月 日 現 在 )			実 施 日 令 和 年 月 日		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等	
1	主体的・対話的で深い学びや探究的な学びについては定着してきているが、さらに深化させ効果的に実施するための工夫をし、学習指導の質をよりたかめることが必要である ○授業力向上を目指し、授業の相互観察や研究授業による授業研究を推進 ○探究的な学習を推進するため、外部機関との連携や教員の指導力向上のための研修を充実 ○タブレットや学習支援アプリの活用について、より学習効果が高い活用方法の研究を継続	①授業の相互観察や研究授業の実施による指導力向上 ②主体的・対話的な学びを通じた探究的な学習の実践、研究 ③校内研修の実施	①授業の相互観察機会を設定する ①研究授業・授業研究会を実施する ①授業アンケートを実施する ②校内研修会を実施する ②優良事例研究や先進校視察を実施する ③タブレットや学習支援アプリ等のICTの活用についての研修を実施する	①成績優良者の増加 (R5年度1.2学期平均:13.5%) ①授業理解度の向上 (R5:90%) ②校内研修会の実施、先進校視察の実績 ②教科横断的に対話的な学びや探究的な学びの実践 ③校内研修会の実施 ③学習支援アプリの活用状況					
2	生徒の生活習慣や規範意識は良好であるが、生徒の抱える課題は多様化している ○多様化する生徒の抱える課題について、校内での組織的対応及び関係機関との連携 ○生徒が相談しやすい環境・体制を構築 ○社会情勢を勘案しながら生徒との対話を通じた柔軟的な対応	①関係機関との連携を含めた組織的な対応 ②的確で迅速な生徒理解 ③生徒との対話を通じた指導内容の検討	①校内において組織的に対応する ①関係機関と連携する ②アンケートや対話等を通じた生徒理解の推進し、情報共有を図る ②スクールカウンセラーを活用する ③社会情勢を勘案しつつ、生徒との対話を通じて指導内容を検討する	①学年と特別支援委員会との組織的な連携、外部機関との連携 ②アンケートや面談等の実施 ②スクールカウンセラーの活用等 ③生徒との対話の場の設定					
3	生徒の進路希望は多様化しており、個に応じた進路を実現させる必要がある ○生徒の多様な進路実現に向けて、進路先の研究を推進 ○生徒がより高い目標を立てられるような進路指導を実施 ○生徒、保護者への進路情報の発信強化 ○英検の全員受検継続及び進路との接続を意識した受検への意識付け	①教員の進路指導力向上 ②より高い目標設定を促す進路指導の実施 ③進路情報の発信 ④英検受検に向けての指導の充実	①面談等を通して生徒の進路希望を把握し、その実態に応じた進路先情報を収集する ①多様化する大学入試などについての校内研修会を実施する ②ロールモデル研究や講演会等を実施する ③集会、講演会等を実施して情報を発信する ④英検の上位級取得を目指し、指導方法を工夫、改善する	①面談等による進路希望実態の把握 ①大学等への訪問等による情報収集 ①校内研修会の実施 ②ロールモデル研究、後援会の実施 ③集会や講演会等の実施 ④英語検定等の受検者数及び合格者数の増加					
4	文化祭などの学校行事や国際理解教育をはじめとした教育活動を通じて、開かれた学校づくりを推進する必要がある ○語学研修や国際理解行事等を通じたグローバルセンスの育成 ○草加南高校の教育活動の成果について、より効果的な情報発信を研究 ○外部機関との連携・交流や地域・保護者への学校行事等の公開など、地域に開かれた学校づくり	①語学研修の実施、国際理解行事の充実 ②HPやSNS等を活用した情報発信 ③外部機関との交流や、地域や保護者への学校行事等の公開	①語学研修を実施したり、国際理解行事を充実させる ①留学した生徒や語学研修参加生徒等による成果報告の機会を設ける ②HPやSNSを活用し、本校の魅力や教育活動について、地域、保護者や中学生へ発信する ③外部機関との交流や、地域や保護者に学校行事等を公開する	①語学研修、国際交流や国際理解行事の充実 ①留学した生徒や語学研修参加生徒等による校内外における学習成果の発表及び情報発信 ②HPやSNSによる情報発信状況 ③部活動、生徒会や有志生徒による外部機関との交流や地域や保護者への学校行事等の公開状況					